

内視鏡下手術が、最近いろいろな外科系学会で主要なテーマとして取り上げられている。この手術が認知され、また関心を集めている証拠であろう。この領域を他に先駆けて推進してきた本学会にとって大変喜ばしいことである。数年来、医療のさまざまな分野で侵襲の少ない治療、縮小手術、機能温存手術などが見直されているが、腹腔鏡下胆嚢摘出術の出現がその契機となったことは明らかである。

内視鏡下手術に関していま世界中で大きな問題となっているのは、この手術にかかる経費についてである。短時間で済む簡単な腹腔鏡下胆嚢摘出術では大して問題にされないが、少し複雑な操作が必要となる、いわゆる advanced laparoscopic surgery では、これは大きな問題である。

鼠径ヘルニア手術について米国での例をとると、手術経費は従来法では平均2,344ドルであるのに対して、腹腔鏡下ヘルニア修復術では平均5,067ドルで2倍を超えている。米国では、手術料は手術材料、人件費、手術室の使用料などを積算する出来高払いが原則となっているため、全身麻酔が必要で手術材料が高く、手術時間も長い腹腔鏡下手術では当然このような高額の手術料となるのである。世界中でも経済が好況で、景気のよい米国でもこれは大きな問題となりつつある。米国の医療を荒廃させた Health Maintenance Organization (HMO) による managed care にも多

くの矛盾点が指摘され、今や大きな転機を迎えつつあるが、高価な手術は保険では支払わないという HMO も現れ、この面から米国での内視鏡下手術が今後どのようになっていくのか予断は許されない。

南米諸国では、いわゆる advanced laparoscopic surgery に対しては、保険会社が支払いを拒否するために腹腔鏡下胆嚢摘出術以外はできなくなったという報告が、International Federation of Societies of Endoscopic Surgeons (IFSES) の理事会でなされ、出席者にショックを与えた。ひるがえってわが国では、社会保険による手術点数が手術材料などすべて込みの定額払いであり、しかもきわめて安く決められてしまっている。かなり多くの advanced surgery が実施されているが、実際には外保連（外科系学会社会保険委員会連合）が以前から繰り返し指摘してきたように、ほとんどの外科手術は採算を度外視した赤字を覚悟のうえで実施されているのが実情である。その赤字は、術前・術後の検査や入院料でカバーしているのが現状であり、今後の医療改革で入院期間が短縮され、術前・術後の入院管理料も定額払いとなれば、採算性からみると内視鏡下手術治療の将来はわが国でも非常に厳しい。

先日、テレビである民間病院グループが赤字経営を建て直すために外科部門を切り捨て、内科と小児科を増やすことによって黒字経営としたというドキュメンタリー番組を放映していた。医療の現場を知らない経済専門家や医事評論家は医療経営におけるリストラや合理化、競争原理の導入などを提言しているが、手術などの外科医療に関していえば、今の医療保険制度による全面規制の下では初めから原価割れの状態で、合理化やリストラ以前の問題である。

(出月康夫)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第4巻 第3号) 1999年6月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価 (本体2,600円+税) (配送料85円) となります。

1999年 年ぎめ予約購読料: 16,380円 (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財)日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 高柳)

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

© 1999, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 青木, 中田)

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷㈱ ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 ㈱文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。